

平成 30 年 5 月 15 日

平成 30 年度 学校関係者評価委員会報告書

学校法人 立志舎
日本動物専門学校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「平成 29 年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 平成 30 年度学校関係者評価委員会

< 委員 > (五十音順)

牛込 清孝 氏 立志舎高等学校 事務長
黒木 莉 氏 株式会社 AHB ペットプラスアミーゴ藤沢店
濱田 寿科 氏 株式会社 AC プラザ荻谷動物病院 トリミング部門マネージャー
前田 勇太郎 氏 有限会社前田愛犬訓練所 会長
松田 絵美 氏 アニマルクリニックイスト 動物看護師

< 事務局 >

田中 壮 校長
吉沢 和也 教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準 1 教育理念・目標	<p>イ．理念、目的、育成人材像は定められているか</p> <p>学校の目標は、「本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、動物に関する専門知識、職業遂行に必要な知識および人間と動物が共生できる確かな技術を授け、併せて豊かな人間性を養い、社会に貢献しうる有能な人材を育成することを目的とする。」とあるが、教育目標については、学則に記載したうえで、設置認可先である東京都に届け出ている。職業実践専門課程認定に伴い、ホームページに基本情報として情報公開している別紙様式 4 に記載しており、学外にも広く公表している。また、学園の基本目標として、「学生から信頼され支持される学校づくり」を掲げ、受付や教務室、就職相談室などにも掲示し、教職員一丸となって取り組んでいる。これら、理念・目的・育成人物像は教職員には周知徹底しており、入学希望者にはオープンキャンパス等でわかりやすく説明している。</p> <p>ロ．学校における職業教育の特色は何か</p> <p>本学は独自の教育システムである「ゼミ学習」を導入している。この「ゼミ学習」を通して、動物およびビジネスに関する資格を取得し、実習を行うことにより幅広い知識や技能を身に付け、動物業界のみならず異業種企業にも就職している。「ゼミ学習」については、入学希望者にはオープンキャンパス等でわかりやすく説明している。</p> <p>ハ．理念、目的、育成人材像、特色などが学生、保護者等に周知されているか</p>

	<p>これらは、学則第1条に規定しており、「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標として教職員一丸となって学校運営に取り組んでいる。</p> <p>二．各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</p> <p>開学以来「ゼミ学習」という本学独自の教育システムを導入したことにより、明るく楽しい学園生活と資格取得実績、動物系企業をはじめとする民間企業への就職実績が両立している。</p> <p>基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「八.理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか」について、評価が「4」ではなく、「3」である理由は何か。 【回答】「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標として掲げており、校舎内のさまざまな場所に掲示し、学生にわかるようにしてはいるが、保護者全員には、まだまだ十分に伝えることができているのではないかと考え、「3」という評価にした。</p> <p>(2) 「ゼミ学習」が説明の中で多く出てきているが、座学のみで実施しているものなのか。 【回答】座学だけではなく、各種実習でもお互いに教え合いながら行っている。例えば、一頭の犬をしつけるのに、ひとりで模索していても解決できないことがあり、一頭をふたりで相談しながら実習を行うようにもしている。グルーミング実習も同様で、毎回ひとりで一頭を扱うことを最善としてしまうと、自己満足になってしまうケースがあるので、ふたりで相談したり、切磋琢磨しながら技術を競い合う方法として「ゼミ学習」を実習にも導入している。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ．目的等に沿った運営方針が策定されているか</p> <p>本学では「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標としており、この学園の基本目標は、理事長講話で繰り返し教職員に伝えており、教務室、事務室、就職相談室などに掲示している。</p> <p>ロ．運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか</p> <p>運営組織図があり、それによって運営されている。各部署には学校の目標達成のために数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が十分に整っている。この運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。</p> <p>ハ．人事、給与に関する制度は整備されているか</p> <p>人事や賃金での処遇に関する制度については、採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度が整備されている。</p> <p>二．教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</p> <p>日常的な意思決定は、管理職が行っている。学校間の調整は企画本部または学園協議会で行っており、理事会、学園協議会、責任者会議、課会議、動物企画会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしており、意思決定システムは確立されているといえる。</p>

	<p>ホ．教育活動に関する情報公開が適切になされているか</p> <p>本学独自の教育システムである「ゼミ学習」を通じて、資格取得、就職および明るく楽しいキャンパスライフの3本柱を追求することにより「学生から信頼され支持される学校づくり」が実現している。就職実績は、入学案内書などで情報公開し、オープンキャンパス等で入学希望者に配布している。また、信ぴょう性を確保するために本人の了承を得て合格者情報に氏名・出身校名を載せているので、志望者や保護者の方の判断にも役立つと思われる。</p> <p>ヘ．情報システム化等による業務の効率化が図られているか</p> <p>情報システムについては、学務システム（入試システム及び学籍管理システム）経理システムを個々に運用している。仮想プライベートネットワーク(VPN網)を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。また、就職部は求人情報と学生情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。</p> <p>基準2についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「ヘ．情報システム化等による業務の効率化が図られているか」について、評価が「4」ではなく、「3」である理由は何か。</p> <p>【回答】学務システムを運用する側の教員が使いこなせていないことが実情である。多くの機能があり、いろいろな面で活用できれば、さらに効率化が図れると考え、評価を「3」とした。</p> <p>【回答】検索機能が多くあり、膨大なデータが存在する。これらの機能やデータを学生募集に活用したり、卒業生の就職先をデータベース化することにより、就職指導で利用することができれば、さらに効率化を図ることができると考えている。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>イ．教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</p> <p>教育理念等に沿った、各学科の目的を達成するために、カリキュラムは、学科で目標とする資格の取得および社会のニーズに対応するために、必要な科目を体系的に編成している。その際、年2回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために、必要な科目を体系的に編成している。また、カリキュラム会議において、定期的に見直しを行っている。</p> <p>ロ．教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</p> <p>本学の授業はゼミ学習方式を採用している。この方法は各業界、各職種に対応する専門的な知識を確実にするばかりでなく、積極性、協調性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性をも涵養している。各コースとも動物に関する知識・技術および社会人として必要なビジネスマナーを体系的に組んでおり、修業年限で、業界が求めるレベルに到達することを可能にしているといえる。</p> <p>ハ．学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</p> <p>カリキュラムは、インターンシップ先や、学内就職セミナー等で得た意見や、年2回開催する教育課程編成委員会での意見を参考に、カリキュラム作成委員会を行って反映させている。</p>

ニ．キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか

専門科目以外にビジネスマナー、就職ゼミナールなどの科目を設置している。また、新入生就職セミナーや企業の人事担当者を招く学内就職セミナー等では、求められる人物像などの説明を直接学生にさせていただき、学生の就職先から一定の評価をいただいております。毎年求人をお願いしたり、採用されていることから判断できる。しかしながら、引き続き教育内容や指導方法についての検証は必要であると考えます。

ホ．関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか

1年次には、約1週間、必須単位としてのインターンシップを企業等と連携しながら行っている。また、入学時及び、年間を通して、定期的に企業と連携した講習会を行っている。

ヘ．授業評価の実施・評価体制はあるか

授業運営の適否を判断し、授業システムの見直しをするため、学生による授業評価アンケートを実施するとともに、教育課程編成委員会での外部委員の意見を取り入れている。また、学生相談室を設置して学生の声を聞いている。さらに、学園内各校の代表者が巡回する各校見学会を行い、普段から他の教員の授業も教室に入って見学している。

ト．成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

成績評価および単位認定は、学則および専門課程便覧に基づき、9月と3月の年2回、厳正に行っている。学生には入学式および授業初日にも説明をしている。

チ．資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

コース毎に目標とする資格を明確に定め、その取得がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。

リ．人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

ヌ．職員の能力開発のための研修等が行われているか

育成目標に向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。また、教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、年間を通じ自己啓発研修を実施し、教員個々のレベルアップを図っている。さらに、企業等との連携により最新の動向を取り入れる研修を行っている。

基準3についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。

(1) 授業評価アンケートとはどのようなものなのか。

【回答】学生、教員共に学校に慣れてきた10月に実施している学生向けのアンケート。5段階評価とし、「学生自身の授業態度などについて」「授業の内容について」「授業の進め方について」「総合評価」の4つの分類となっている。アンケート評価結果をクラスごと、かつ22項目ごとに数値化してこの結果を把握し、授

	<p>業の改善にあたっている。</p> <p>(2) 素晴らしい試みである。授業評価アンケートの評価対象者は、授業担当者なのか。</p> <p>【回答】本学は、多くの科目をクラス担任が担っており、学生は一日の中で、最も多く担任を見ている。こうしたことから、クラス担任が大きな評価対象になっていると思われる。また、年に2回各校見学会と称して、授業見学会を学園全体で行っており、姉妹校の教職員が授業見学を行うことで、学園全体で内部評価を行い、数値化して授業の改善にあたっている。見学の内容は、ゼミ学習が機能しているか、板書は適切か、掲示物は最新であるか、清掃状況などである。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>イ．就職率の向上が図られているか</p> <p>本学は、就職担当者と担任が連携を取りながら、企業様等を訪問をして求人開拓をしている。訪問する企業様方は、本学独自の学内就職セミナー等に例年多数参加していただいている。また、毎週就職会議を行いその結果を前年度と比較して推移を把握しており、同時に就職部が学園全体も把握し、学園内各校とも比較している。</p> <p style="text-align: center;">< 就職実績の報告があった。 ></p> <p>ロ．資格取得率の向上が図られているか</p> <p>学園内の各校と定期的に資格取得率向上のカリキュラム会議を開き、試験内容に変更がある場合には、その内容にすぐに適応できるように体制を整えている。また、本学独自のゼミ学習を行うことにより力をつけ、合格実績を上げている。</p> <p style="text-align: center;">< 資格取得実績の報告があった。 ></p> <p>ハ．退学率の低減が図られているか</p> <p>退学のおそれがある者、学業に悩みがある者等を早期に見出し、その学生には担任から働きかけ、その原因を取り除き解決に導く等の指導をしている。万が一退学者が出た場合でも、退学・休学の理由・経緯についてもきちんと把握している。</p> <p>基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 高校側が進学校を選ぶ上での評価として重要視する点は、退学率である。御校の退学率はどれくらいか。また、その理由は「勉強についていけない」などは含まれるのか。</p> <p>【回答】本学の退学率は4.6%。退学理由は、経済的な面で退学してしまう者も含まれる。ゼミ学習を行っているおかげで、勉強についていけないなどの理由は見受けられない。</p> <p>(2) 就職率も大いに気にするところであり、単なる就職率だけではなく、業界就職率が気になる。御校の動物業界への就職率は約80%ということであるが、残りの20%は自ら動物業界以外を志望したのか。それとも動物業界に行きたくても行けなかったのか。</p> <p>【回答】自ら動物業界以外を志望した者がほとんど。就職希望先は学生自らが選択して、教職員が適切なアドバイスを行っている。もちろん教職員が個別に紹介す</p>

	<p>ることもある。本学では動物業界はもちろん、動物業界以外の求人も多い。また、警察犬訓練士、警備犬訓練士など公務員を目指したい学生には、姉妹校の東京法律専門学校と連携することで、合格が可能となる授業制度がある。</p> <p>(3) 自衛隊にも就職しているが、動物業界ではないと思うが、どういった理由で就職したのか。</p> <p>【回答】自衛隊内に、基地の警備を担う警備犬を育成する部署がある。将来的にこの部署への配属を希望して就職した。</p> <p>(4) 東京入国管理局も麻薬探知犬の訓練士を目指すということか。</p> <p>【回答】東京入国管理局とは違うが、別の公務員として採用されて、麻薬探知犬の訓練士になる場合がある。</p> <p>(5) 学生自ら選んだコース内で、他のコースの授業を取り入れていることはとても素晴らしいことである。</p> <p>(6) 最近では、トリマーコース以外の学生が、トリマー職を希望して入社試験を受験することが多い。御校の学生はそのケースが目立つ。入学後に、所属しているコース以外の勉強や実習ができることは、就職先の選択をする際に視野が広がるので、非常に良いと思う。</p> <p>(7) 私は卒業生ですが、グルーミング実習は楽しかったです。しかし、それを中心とした仕事よりも販売を中心とした仕事がしたいと思い、現在にいたっています。就職先の視野を広げるためにも、逆に取捨選択していくためにも、いろいろな実習を取り入れることは素晴らしいと思う。</p>
<p>基準 5 学生支援</p>	<p>イ．進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p> <p>本学では、就職相談室を設け、就職担当者及びクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、就職先の選択、会社訪問、面接対策などの指導を行っている。また、人事担当者を招き学内就職セミナー等を実施したり、就職担当者や就職内定学生による進路決定のための就職・公務員ガイダンスを毎年開催している。</p> <p>ロ．学生相談に関する体制は整備されているか</p> <p>学生は、様々な悩みを持っている。それらの相談はまずクラス担任にするが、担任に話せない事柄もあり、その時は、学生相談室が設けられているので、学生は相談室の担当者に相談している。学生相談室は、匿名での電話相談にも応じており、保護者からの相談はクラス担任だけでなく、学生相談室や就職相談室も利用できるようになっている。</p> <p>ハ．学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p> <p>学生の経済的側面に対する支援体制として特別奨学生試験、各種特待生制度、経済的理由による修学支援奨学生制度や延納制度を設けている。これらの制度はすべて、貸与ではなく給付となっている。</p> <p>ニ．学生の健康管理を担う組織体制はあるか</p> <p>学校保健安全法に基づく健康診断を年に1回4月から6月の間に全学生を対象に実施している。また、指定病院が学生の健康相談などに応じている。</p> <p>ホ．課外活動に対する支援体制は整備されているか</p> <p>ドッグスポーツクラブをはじめ、野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部、テニス部、プラスバンド部、バドミントン部、応援団、チアリ</p>

	<p>ーダーなどのクラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などの課外活動が盛んであり、学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。</p> <p>ヘ．学生の生活環境への支援は行われているか</p> <p>遠隔地出身者のための学生寮などの学生に対する生活環境支援は必要であるため、学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として学生に紹介している。</p> <p>ト．保護者と適切に連携しているか</p> <p>学生に対して適切な指導、相談を行うためにも、出席状況、成績表、相談室のお知らせ等を年に4回保護者様に送付している。また、必要に応じて保護者様に連絡を取り、面談をしながら学生の指導を行っており、その内容は学務システムに入力し、教員間で共有している。</p> <p>チ．高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</p> <p>評価3の理由は、立志舎グループ内の姉妹校との格差の表れである。立志舎グループは「高校生の就職を応援します」と銘打ち、公務員採用試験受験指導、情報処理セミナー、簿記セミナー等を開催し、多くの高校生に参加してもらっている。ところが本校においては、このレベルまで未だ達成されていない。</p> <p>基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 卒業生だが、就職部を利用することで支援して頂いた。クラスメイトと一緒にいくことが多かった。</p> <p>(2) 卒業生だが、担任の先生から十分に支援をして頂いたので、就職部を利用する必要がなかった。</p> <p>(3) 課外活動では、プラスバンド部に所属していて、多くの学校行事で演奏していた。勉学と両立できていた。</p> <p>(4) 私もプラスバンド部に所属していた。勉学と両立できるように担任の先生、顧問の先生共に支援してくれた。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ．施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</p> <p>アジリティー大会、ドッグショー見学、動物施設等の学外実習、インターンシップ、海外ペット研修を実施するなど十分な教育体制を整備していると思われる。また、設置基準に基づき教室、実習室、教員室、事務室などを設置し、維持管理については定期的な点検整備を行い、学内に担当者を置き、専門業者に定期的な点検整備を依頼、実施している。しかしながら、教育上支障がないとは言っても、教育上の必要性に十分対応できるようより一層整備していかななくてはならないと考えているので、「ほぼ適切」の3をつけている。また、パソコンは、5年毎に更新しているが、その他の施設・設備の更新計画は、現在立てていないことも「ほぼ適切」の3の理由である。</p> <p>ロ．学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</p> <p>学生が希望するインターンシップ先を担任と協力して受け入れ活動を行って</p>

	<p>いる。インターンシップ受け入れ先からは評価され、就職内定へとつながっている。インターンシップ先でインターンシップ評価書を記入していただき、学生指導に反映している。</p> <p>ハ．防災に対する体制は整備されているか</p> <p>防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を行い、自衛消防隊を組織し、防火管理者を置き、消防計画を立てている。しかしながら、大規模災害等いつ何が起こるかわからない状況を考えると、災害時対応マニュアルを更に整備する必要がある</p> <p>基準6についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>御校には現在、獣医学、動物看護学で使用する設備や機材として、手術設備、レントゲン設備、エコー検査機、オートクレープ、血球検査機などが設置されているようだが、私が在籍していたころは、それらの機材は無かったので、設備や機材が充実したことは非常に良いと思う。さらに眼圧測定器などの機材があればよいかもしれない。</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ．学生募集活動は適正に行われているか</p> <p>入学案内書、媒体誌、ホームページ、テレビ広告は、毎年きちんと把握している合格状況や就職率に基づき作成し、正確でわかりやすい表現になっている。</p> <p>ロ．学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</p> <p>入学案内書やガイドブック作成にあってはその内容や表現において真実性、明瞭性、法令遵守が必要であることを認識し広報を中心に作成している。そのために具体的な数字を示すことや、本人の了承を得て氏名を公表することにより志望者や保護者からの信頼を得られる内容になっている。また、高校を卒業後すぐに入学される方が多いのでその点にこだわった表現にもなっている。少子化時代であり、募集定員を満たすことが難しいが、今後も志望者のニーズに合わせた学校運営を行っていく。</p> <p>ハ．学納金は妥当なものとなっているか</p> <p>本学は法人単位での財務公開体制をとっており学納金が適正かつ公正に使用されていることを明らかにしている。現状は問題ないと思われるが、社会状況の変化を絶えず見据えながら検討していく必要があり、変更が必要な場合理事会・評議員会の承認を経て学則を変更する。</p> <p>基準7についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>御校の学生募集活動における「OB・OG通信」は非常にわかりやすいので良いと思う。本校の卒業生が、どのように活躍しているかということがわかるので、関連分野を希望する生徒にすすめやすい。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>イ．中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</p> <p>ロ．予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p> <p>ハ．財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>ニ．財務情報公開の体制整備はできているか</p>

	<p>財務全般についてであるが、少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定められており、予算の編成は適切な手続きを経た上で確定し、予算を執行している。会計監査については、監事2名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施している。その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。</p> <p>基準8についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>イ．法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本方針に、法令遵守規程を作成し、教職員に徹底している。さらに必要に応じて研修等に派遣したり、資料を配布するなど、法令、設置基準を遵守するための施策を法令遵守規程を作成し、実施している。また、法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。そして、毎年、東京都人権啓発センターより講師を招いて人権研修を実施している。本学はもちろん、動物取扱業として東京都に登録しており、動物取扱責任者を選任し必要な知識や技術を習得している。</p> <p>ロ．個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</p> <p>個人情報保護規程を設定しており、プライバシーポリシーを設定し公開している。また、学校の保有する情報を委託業者に取り扱わせる際も覚書等で保護の徹底を行っている。教職員には規程の遵守はもとより、インターネット使用時の暗号化なども徹底しており、学生には担任を通じて適宜該当する情報を伝えている。</p> <p>ハ．自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>本学では「自己点検・自己評価委員会」を設置し、学校評価研究機構の基準により、点検、評価を行っている。平成29年度分は、平成30年2月9日に実施した。問題点は軽視せず、自己評価において「ほぼ適切」以下の項目についての改善に努めている。</p> <p>ニ．自己評価結果を公開しているか</p> <p>自己点検・自己評価の結果を「自己評価表」としてホームページ上で公開しており、学校関係者評価委員会で報告し、評価を頂いている。</p> <p>基準9についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p>
<p>基準10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ．学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</p> <p>学園祭では地域住民の方を招待し地域活性化に協力しておりますが、生涯学習や雇用促進支援など学校の資源を活用した事業を支援する、といったことに関しては、現状では特に行っていないので、評価を「ほぼ適切」の3にした。</p> <p>ロ．学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</p> <p>開校時より、家庭飼育犬をモデル犬として無料でグルーミングを行っている。また、学生のボランティア活動を奨励、支援し、その活動状況を把握し評価している。具体的には学生の校舎外の近隣清掃を開校時から行っており、清掃活動は近隣住民からも好評である。</p>

八. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか

地域に対する公開講座などを実施し、地域との連携を強化する。

基準 10 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。

(1) 地域に対する公開講座の一例として、「歯磨き教室」「老犬老猫の介護」「ペットロスへの対応セミナー」「災害時における動物への対応セミナー」などを実施してみたいか。また、「飼い主様自らが自分の犬を洗う体験」などは、御校の教育資源や施設が活用でき、飼い主様が喜んでくれるので、社会貢献度も高くなるのではないかと。その際、御校の学生が飼い主様に教える立場になると、教える難しさも体験できて勉強になるはずである。マンションの集会場での講習会があってもよい。ペット飼育可のマンションであっても、「犬へのしつけ」がきちんとできていないことで、トラブルになるケースがある。ここに着目した「しつけ教室」があってもよいと思う。

(2) ドッグフードセミナーも良いと思う。先ほどの「マンション内での講習会」やその他の講演会では、トラブルがあった時に備えた保険などの確認をしておくべきである。

(3) 学生のボランティア活動の奨励について、在学中にペットイベントにボランティアスタッフとして参加したことは良い思い出となった。こうしたイベントへの参加を促すことは継続するべきである。

(4) 「八. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか」について、昨年度、日本動物専門学校の評価は「2」でしたが、今年度「3」と評価した理由を教えてください。

【回答】毎年 11 月に一般の飼い主さんに向けたポイントカット、ドッグマッサージ、アロマセラピー、健康チェックを行っています。昨年と比較して受講生も増え認知度が向上しているため評価を「3」といたしました。

〔総括的な意見〕

(1) 御校の卒業生は非常に良く「報連相」ができています。インターンシップ実習中においては、質問があれば積極的に相談してくれるので良い。相談上手であることを実感している。これは、日ごろから担任の先生によく相談している表れであり、「報連相」ができる学生を育成していることは、受け入れる企業としては好印象である。よって、「口. 学生相談に関する体制は整備されているか」についての項目に関する活動は、今後も継続して行ってほしい。

(2) 本院でも、御校の学生は「報告、連絡、相談」を良くしてくれる。毎回インターンシップなどに来る学生は違うが、全員がよく相談してくれるので、トラブルが無い。感心している。

(3) 「学生から信頼され支持される学校づくり」という学園の基本目標は、私が卒業してから設定されたことと思われるが、とても素晴らしいと思う。

(4) 在学中に機材が使用できることは、働きだしてすぐに即戦力になるので、今後も設備や施設の充実を怠らないで欲しい。